

学力向上に効果のある取組事例

国東市立安岐中央小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

◆中央小「学習規律・生活規律」スタンダードの徹底

○学習規律の徹底

授業の始まりと終わり・ノートのきまり・話し方聞き方のポイントの共通理解など

○生活のやくそくの徹底

あいさつ・整理整頓・そうじ・家庭学習のてびき

○進んで伝え合う

効果的な学習形態や児童の意見をつなぐ支援の工夫

○振り返りの視点

学びを振り返り、学びを深める振り返りの視点や方法の共有

◆教科担任制(4年生以上)の推進

○教員の持ち味や特性を生かし、教員相互の授業力を高めていく。

○いろいろな教員が児童と接することで、多面的な児童理解を深め、児童の学級満足度を高める。

◆個別の支援

○複数体制で授業を行い、困りを抱える児童への個別の支援を行う。

◆単元テストの結果の共有化

○共通集計ソフトに入力し、児童名入りの分布表をファイルに綴じる。個別のつまづきを職員間で共有し、指導に活かしている。

◆週時程表の見直し

○放課後の時間を生み出したことで、教材研究や個別の指導計画の作成、学年部の打ち合わせなどに時間を充てることができている。児童についての共通理解が深まったり、教員の授業力が高まることで学力向上につながっている。



取組の具体②

◆保護者との連携

○親子ふれあい週間

学期に2回、親子で宿題、早寝早起き、あいさつ等に取り組む活動を実施。取組状況を教務主任が集計・分析し、教職員で共有し、保護者に還流している。宿題確認やノーメディアに親子で取り組み、正しい生活習慣を意識することで、自尊感情等も向上してきている。

◆外部団体のサポート

○ぐんぐんタイム

2週間に1度、担任を含む複数体制で、朝の帯時間にドリル学習に取り組んでいる。丸付けは、保護者や地域のボランティアの方がしてくださっている。その間、担任は、定着が不十分な児童へ個別の指導を行うことができる。

○学びの教室

教職員OBが、希望者を対象に毎月3回放課後に、学習指導をしている。基礎基本の内容を中心に学力の定着を図っている。

